



週報

2015~2016 年度 RI 会長 K.R. ラビンドラン
RI のテーマ 『世界へのプレゼントになろう』
第 2570 地区 ガバナー 高柳 育行

国際ロータリー
第 2570 地区

狭山中央ロータリークラブ

〔例会会場〕 狭山東武サロン 〒350-1305 狭山市入間川 3-6-14 TEL 04-2954-2511
〔事務所〕 〒350-1305 狭山市入間川 1-24-48 TEL 04-2952-2277 FAX 04-2952-2366
<http://www1.s-cat.ne.jp/schuohrc/E> - mail:schuohrc@pl.s-cat.ne.jp
会長 江原伸夫 会長エレクト 佐藤圭司 副会長 浜野貴子 幹事 小島美恵子

〔第 3 グループ内の例会日〕 新狭山(月)、入間(木)、入間南(火)、飯能(水)、日高(火)、狭山中央(火)
所沢(火)、新所沢(火)、所沢西(火)、所沢東(木)、所沢中央(月)

第 1089 回(6 月 14 日)例会の記録

点 鐘 江原伸夫会長
合 唱 四つのテスト
第 2 副 SAA 守屋君 野口君

※出席報告

会員数	出席者数	出席率	前回修正
35名	28名	78.79%	78.79%

パスト会長の時間

稲見パスト会長

こんにちは。一年振りの壇上なので非常に緊張しております。

先日、私次年度増強を担当することになりましたので、佐藤エレクトと、浜野副会長、浜野さんは来年公共イメージを担当されるものですから、会員増強と公共イメージのセミナーということで、3人で地区へ行って参りました。やはり私の年度もそうだったのですが、増強なくしてロータリークラブはないという事ですから、その時に出た話、過去の流れの話をしなが、パスト会長の時間として話をしたいと思います。

佐藤エレクトの来年の目標は「純増 5 名」だそうです。これは地区でも一番高い方のレベルで、大体 1~2 人というクラブが多い中、当クラブは 5 名という目標を掲げましたので、心して掛からなけ



れば達成できないと思っております。皆さんのご協力を頂かなければ達成できない訳であります。

最近では、職業は問わないということになっておりますので、誰でも入れます。しかし最低会費が納められる、或いはそれなりのポジションにいて、そして奉仕ができる、そのため誰でも良いという訳にはいきません。しかし職業は関係ありませんので、皆さんの周りにいらっしゃる方ならどなたでも入れるのではないかと思います。そして来年 7 月からは、最低月 2 回の例会で良いそうです。しかしこれは次年度もプログラムを組んでありますので、2 回という訳にはいきません。また今もほとんど免除になっているような状態ではあります、入会金は免除ということになっております。

過去の流れをお話しますと、地区協議会の時のプログラムと事業計画書ということで冊子になっているのですが、この中に、RI2570 地区の会員の増減が一覧表になっております。これを見ますと、1994 年(平成 6 年)は 2838 名おりました。それが昨年 2015 年(平成 27 年)には 1663 名であり、1175 名減っているわけです。約 20 年前との比較になります、一番多かったのがこの平成 6 年の時で、やはり今が一番少なく、約 41%の減です。会員が減っておりますので、クラブ数も当然減っており、5 クラブ減で現在 51 クラブです。

狭山市の状況は、1996 年、これは守屋パスト会長の年度に当たりますが、狭山クラブ 44 名、新狭山クラブ 50 名、狭山中央クラブ 48 名の 3 クラブございました。これが MAX の時ですが、合計 142

名いたということになります。それが昨年 2015 年には、狭山クラブが解散となり 0 名、新狭山クラブ 14 名、狭山中央クラブ 36 名、合計 50 名です。一番多かった時の 142 名から 50 名になっておりますので、92 名の減、これは MAX の時と比べると 65%減です。地区は 41%減ということですが、狭山市に至っては 65%です、相当減っているということになります。当クラブで言いますと、喜代川の石川さんの年度が一番多く、平成 7 年に 48 名です。現在は 35 名ですから、13 名減、27%の減となります。狭山市では一番検討しているクラブです。

現在狭山市のロータリー会員は 50 名ですが、隣の入間と比較しますと、入間クラブが 41 名、入間南クラブが 39 名、合計 80 名です。ほぼ入間と狭山は同じ位の人口で同じ位の規模、どちらかと言いますと狭山の方が事業的には恵まれている部分がありますが、それでも入間と比べて 30 名少ないわけです。もう一つ、本庄と比較しますと、本庄ロータリーが 81 名、本庄南が 15 名、合計 96 名です。人口比は、狭山が 15 万強、本庄は 8 万弱、それでいて 96 名いるわけですから、どうしても狭山は少ないということになります。

私の考えていることは、個々一人一人の友達を、自分の周りの誰か一人でもよいから友達を誘って頂ければと思います。ある程度の勢力を持たなければ、飯能にも負けているようでは仕方がないので、是非増強をしていかなければならないと思います。ロータリアンの人数も、その町の隆盛に関わるのではないかと思います。しっかりとした所にはロータリンがたくさんいるということ、これは確かなことだと思います。

来年は、佐藤エレクトが「純増 5 名」と言っております。「純増 5 名」とは 7~8 名入れなければなりません。私の時には 7 名入りしましたが、5 名が亡くなられたり、辞めたりしましたので、かなりウェイトの高いハードルだと思います。是非一人一人が心掛けて頂き、新しい人が入ると、またその方が新しい人を入れてくれるという好循環になってきます。来年私も増強で頑張っていきますが、とにかく皆様のご協力を宜しくお願いしたいと思います。

幹事報告

小島幹事

1. 国際ロータリー第 2720 地区ガバナー野田三郎様、ガバナーエレクト前田眞実様より、クラブに対し熊本・大分地震 義援金のお礼状について。
2. 青少年交換地区委員長より、吉田ガバナー補佐を通じて交換学生の受入れのお願いについて。
3. 例会変更 所沢西 RC 所沢中央 RC
4. 受贈会報 入間 RC 所沢東 RC 所沢西 RC
5. 回覧物 ハイライトよねやま 195

「会員卓話」・・・・・・・・

田端都女子会員

皆さんこんにちは。
本日は卓話ということで
15 分間のお時間頂きまして
ありがとうございます。



先ほど稲見パスト会長が増強についてお話されておりました。同時に私も今、倫理法人会の勉強をさせて頂いております。やはり増強を皆が一生懸命になってやっております。今埼玉県が 4500 社に向けて頑張っているところでございます。

今日は倫理法人会のことをお話させて頂きたいと思いますが、全国 670 ヶ所でモーニングセミナーという、朝 6 時からの勉強をさせて頂いております。会員が 62000 社です。その中に事業が、地球倫理推進事業と言いまして、内モンゴルの恩格貝、クブチ砂漠にポプラの木の植林をしております。この倫理研究所では平成 11 年から始めまして、今 35 万本、全てあわせると 350 万本が植わっております。そこに一つの森が出来たという形になっております。今年度は私も植林に参加ということで、このクブチ砂漠に行って参ります。7 月 24 日から 30 日までの 7 日間ということになっております。

倫理法人会に、後継者倫理塾というものがありまして、今日は「活力朝礼」ということで、皆さんの会社でも朝礼はされていると思いますが、倫理

法人会では活力朝礼を一つの目玉として推奨しております。この活力朝礼をすることによって、経営者が変わる、社員が変わる、元気がでることによって会社が変わるということになっております。

今日は皆さんのお手元に資料を配らせて頂きました。「活力朝礼」ということで、朝礼には企業の社風や会社の質が現れます。その朝礼を連絡、報告はもちろんのこと、基本動作、これを繰り返して行うことで、教育の場として活用できます。日々繰り返して行うという事、これは習慣づけるということです。習慣づけることによって、その効果は大きなものとなるでしょう。経営者や幹部の方々は組織を活性化させる良い方法はないかと悩み、社員の方々は仕事に慣れが生じ、マンネリ化してやる気がない等、互いになんとかしなければと思いつつもながらも流されているということはありませんか？そんな問題を解決しているのが活力朝礼です。

一人一人の社員が生き生きと働く企業には、企業の心や意志である経営理念が、共通認識として社内に浸透しています。経営理念を日々の仕事の土台として、社員が自分自身の立場を自覚し、自主的に働く姿が社風や会社の質の向上に繋がります。そのような企業では知恵、経営理念を毎朝の朝礼で継承しております。

朝礼は企業の社風や会社の質を更に向上させる大きな力を秘めています。一日の仕事のスタートである朝礼の醍醐味をお互いに学んで参りましょう。それにはまず、活力朝礼のポイントが5つあります。

- 1.ウォーミングアップ
- 2.情報の共有かつ徹底
- 3.目標の確認
- 4.基本動作の習得訓練
- 5.チームワークの成果

こういったことを日々重ねていくことによって、社長と社員が無垢な関係になれる、連帯感ではなく一体化した形になれるということです。次に、

【マンネリ化の原因】

朝礼を開催する目的が不明確であったり、情報の発信と受信が一方通行であったり、スピーチや感想が否定的、抽象的な内容であったり、基本動作が崩れている、させられている朝礼、こういう形だ

とマンネリ化してきます。

活力朝礼を高める五つの要素は

- 1.調和
- 2.タイミング
- 3.集中
- 4.洗練
- 5.創造

このような形で、自分達で作り上げていく、これが活力朝礼の醍醐味です。

ここで少しだけ実演させていただきます。私の会社でも、人数は少ないのですが、毎朝10分間、これを行っております。これをやることによって、社員さんとのコミュニケーションが非常にとれるということで、どんなことを考えているのかということが、社員さんからも引出しやすくなります。心とは日々、一秒一分で変わりますので、そうしたものを無くすためにコミュニケーションをとるには、この活力朝礼が一番良いのではないかと考えております。そのため私も採用させて頂いております。

・・・実演・・・

毎朝の朝礼は社員一人一人の気を交流させる場です。参加者全員が喜びにあふれ、元気に行う努力を続けていけば、自然に明るく活気に満ちたムードが生まれることでしょう。し



しかし現実には形式的でマンネリ、朝礼をする時間があつたら仕事をさせてと、朝礼の在り方に疑問を持っている人も少なくありません。朝礼そのものが生産性を上げる訳ではありません。しかし朝礼によって社員全員が心をつにし、スタートダッシュをするのと、そうでないのとでは、結果において大きな差がでます。

朝礼運営の第一段は、活力あるムードの出やすい基本型を作ることですが、それが定着したら参加者がアイデアを出し合つて、その職場、職場でオリジナルの朝礼を工夫していくことが大切です。その中でもトップの経営理念を実現し、活力溢れる朝礼を作るためには何が必要かを、一人一人が日頃から考えていこうということで、皆さんに職場の教養を毎月配らせて頂いております。これを毎

日、1 ページずつ読むのです。段落ごとに声を出して読むことが、大切です。

読み終わったら感想を言うのですが、感想をいう事によって感じ取る力が出来てきます。そして最終的には今日の心がけを斉唱致します。

日々これをする事によって、本当に違った社風ができてくると私は信じておりますし、この朝礼で成功している会社が随分とあります。是非職場の教養を活用して頂ければと思います。

最後に、先ほど増強のお話がありましたが、私もこのロータリークラブに入会させて頂きまして早1年3ヶ月となります。稲見パスト会長のご紹介により入会致しました。皆さん家族愛が良いということに感銘しております。そんな中で私もお手伝いができることは何かと思っておりますので、それにはやはり増強に力をいれて、皆さんと共にやっていくことが良いのではと感じております。先日私が元おりました、グリーンライオンズが解散致しまして、私も何人かお声掛けをしたのですが、色々なことがあっての解散なので、少し休みたいという形でした。しかしロータリーとはまた別の形がありますので、入会して頂きたいと思い、お声掛けをさせて頂いております。本当は私、今年度2者という目標を掲げておりましたので、1者しかできず大変申し訳ないと思っておりますが、自分がお約束した人数は必ずやりたいと思っておりますので、来年度、佐藤会長にご指導頂きながら活動していきたいと思っております。今後とも宜しくお願い致します。

沼崎正徳会員

：モンゴル視察報告：

去る6月3日～6日まで3泊4日でモンゴル国ウランバートルへ、我がクラブの国際奉仕事業である「早魃防止植樹プロジェクト」の最終年の現地視察を行いました。私たちクラブの現地視察は4回目、参加者は江原会長、小島幹事、柴田、栗原成実、小幡、小林、沼崎会員に私の妻が加わり8名でした。



入会后日の浅い会員も居られますので今までの経緯を加え視察の報告をします。

2009年小幡会長の年度から2011年私の年度までの間、米山留学生として狭山中央RCが受け入れたのが、時の大東文化大学の学生ジグジット・タミラ君でした。彼は時のモンゴル国駐日全権大使レンツェンドー・ジグジット氏の長男でこれが事の始まりです。大使は帰国後政府の要人になり、現在は鉱山省大臣です。タミラ君も卒業後アメリカへ留学し今は母国モンゴルで国土開発に関わる鉱山用重機調達の仕事をしています。時の国際奉仕委員長柴田議員、栗原成実会員の尽力で同国への援助についての話が始まり、ジグジット元大使の意向と、彼による現地での受け入れ体制の整備により早魃防止植樹プロジェクトが企画されました。当初は単独事業として資金提供をしましたが、国際ロータリーの資金援助を得るため、同国のフレロータリークラブとの連携事業（マッチンググラント）としての条件整備をしました。これには柴田、栗原両パスト会長の尽力によるものです。

一回目の現地訪問は2012年27名のメンバーで訪問、先方のフレロータリークラブ、フォレストNGO、協力してくれるモンゴル国立農業大学の林業の先生方とお会いし、学校の実験演習林である植樹の候補地を見学しました。モンゴルの風景は簡単に言うと、限りなく続く草原と草山、木はほとんど無い。候補地もやっと森と言える木が生えている地味の悪そうな土地で、冬の寒さは尋常ではないー30度を超えると言う。動物による食害も有る。まず色々な苗木を植えてみて、適する樹種を選定することから始める、最初は生薬になる木や街路樹になる木を数種類試すとの事でブッシュのような頼りない木を植えました。前回、2年前は栗原会員が持参した「フジリンゴ」も試しました。実際にプロジェクトが本式に植樹を開始して今年で3年になり、成果が出始めています。本年の報告は先方が作成した別紙に有りますから目を通して戴きますが、この地に適する木は「シベリヤ松」。シベリヤやカナダの冷涼地で大きくなる「タイガ」を構成する樹種です。

本年苗床を見ましたが一年目はまだほんの芽だし、3年目の苗木で15～20センチでした。この

木は10年を経ると急に成長が早まり、20年後にはかなりの大きさに、100年後には見上げる大樹になるとの事。苗木の写真を見て下さい。まずビニールハウスで育成、外気に慣らした後実際に植樹します。



これらの仕事は大学生の実習の形で行われ、彼らは今後指導者として森林育成の先頭に立つとの事です。残念な事は、栗原さんのリンゴが枯れてしまいそうな事と森から出て来るウサギが苗木を食べる食害が収まらない事です。大学の演習林では周りに網を張り防除していますが、規模が大きくなるとその防除網の設置も大きい負担になりま

すので安心は出来ません。フレロータリークラブもフォレストNGOもこれからの継続援助を期待しているとの事です。我々のプロジェクトは一応本年度までと言う事になっています。先の方々とのお食事の写真を見て下さい。

今後我々に残された作業は国際ロータリーに対する報告が有ります。これは国際ロータリーからの援助資金を使ったため、その最終報告を当事者であるフレロータリークラブと狭山中央ロータリークラブの両者が行う義務があるからです。これは My Rotary という 国際ロータリーのホームページ上に記入する作業ですが、困ったことに我々は慣れていません。報告の詳細は先方のフレロータリーが行うことになりましたが、パートナーと言ってもホストクラブである我がクラブの江原会長の報告は必要ですので急いで勉強しなければなりません。



フジリンゴ





ジルジット大臣との会食



フレロータリークラブ
フォレストNGOとの会食

ニコニコボックス



江原君 稲見パスト会長、本日のパスト会長の時間を宜しくお願い致します。また、会員卓話をお願いしております田端会員、沼崎パスト会長宜しくお願い致します。皆様これから暑い日が続くと思われますので体調管理には充分ご注意下さい！

小島君 稲見パスト会長、会長の時間楽しみにしておりました。田端会員、沼崎パスト会長、卓話宜しくお祈いします。

浜野君 田端会員、沼崎パスト会長、卓話楽しみにしておりました。宜しくお祈い致します。稲見パスト会長、会長の時間宜しくお祈い致します、楽しみにしておりました。

佐藤君 先日のモンゴル訪問大変ご苦勞様でした。本日の会長卓話、沼崎パスト会長、田端会員待っていました。楽しみにしておりました。宜しくお祈いします。

清水君 前回お休みしました。

会員誕生祝 清水君

夫人誕生祝 古谷君